



**FUKUOKA DESIGN
AWARD '07**

Prize-winning commodity collection
Symposium, Exhibition and Commendation Ceremony

ごあいさつ



麻生 渡
福岡県知事

第9回福岡産業デザイン賞受賞企業ならびに受賞デザイナーの皆様おめでとうございます。「福岡産業デザイン賞」も今年で9回目を迎えました。年々、企業とデザイナーとの協働による商品が増え、商品開発にデザインを生かす「福岡産業デザイン賞」の趣旨が定着してきているところです。本県は、高度なものづくり技術を持った企業が多数集積しており、デザイン関連産業やデザイン関連教育機関にも恵まれています。そのため、本県では、デザインによる付加価値の高い商品開発を進めるため、福岡県産業デザイン協議会と連携して、この「福岡産業デザイン賞」事業など県内企業の競争力を強化する取組を進めています。今年度は、大賞を受賞した「小倉織」をはじめ、地場の技術や素材にデザインを導入することで、製品の魅力・価値を高めた商品が数多く見られました。まさに、商品開発にデザインを活かす、本事業の中核を担う企業が育ってきていると実感しています。今後、ますます企業とデザイナーとの連携が広がり、魅力ある「フクオカブランド」商品が生まれることを期待しています。



水口敬司
福岡県産業デザイン協議会 会長

「福岡産業デザイン賞」は、県内企業のデザインの優れた商品を表彰・推奨し、デザインをもっと身近な経営資源として活用していただくため、平成11年より実施しています。今日、多様な商品が手に入る中で、消費者をひきつける個性的で魅力ある商品の開発が強く求められています。「グッドデザイン イズ グッドビジネス」という言葉が示すとおり、すばらしいデザインはビジネスの成功をもたらします。今回、受賞いただいた企業、また、ご応募いただいた企業の皆様の中から、さらに、商品の高度化に取り組みされる企業が出てくることを期待しています。今後も、本県におけるデザイン振興の中核組織として、企業とデザイナーとの活発な交流を支援し、デザインを活用した「売れるものづくり」の推進に取り組んでまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



近藤康夫 こんどう・やすお

東京生まれ。東京造形大学造形学部デザイン学科室内建築専攻修了後、三輪正弘環境造形研究所入社。1977年クラマデザイン事務所入社。1981年近藤康夫デザイン事務所設立。2003年株式会社エービーデザイン設立。近年の作品に、ホテル「ALシテイ羽田」東京、トヨタ会館（エントランスホール）などがある。主な受賞は、1988年日本インテリアデザイナー協会協会賞、1989年AGB国際インテリアデザイン大賞、2000年度毎日デザイン賞など。著書は「インテリア・スペース・デザインング」、「AB DESIGN YASUO KONDO」。現在、九州大学大学院芸術工学研究院応用情報部門教授、大川家具「SAJICA」ブランドの製品デザインディレクターを務める。



左合ひとみ さごう・ひとみ

東京芸術大学美術学部卒業後、パルコ広告制作局などを経て1988年株式会社左合ひとみデザイン室設立。グラフィックデザインをベースに、企業のブランディングや商品開発、プロダクトデザイン、空間デザインなど幅広い領域で活動。近年の社事に「ISSEY MIYAKE」のウィンドウデザイン、「KENZO PARFUMS」の香水のパッケージワークショップ、新潟県燕市の洋食器を国際的に発信する「enu」プロジェクトなどがある。主な受賞は1982年準朝日広告賞、1995年ニューヨークADC銀賞、1998年JAGDA新人賞、1999年日本パッケージデザイン大賞特別賞、2000年全国カレンダー展通産大臣賞、ドイツ・カレンダー展銅賞など。現在、グッドデザイン賞審査委員、朝日広告賞審査委員を務める。



橋本茂宏 はしもと・しげひろ

岡山県出身。青山学院大学法学部卒業。1976年4月、株式会社西武百貨店入社。87年、有楽町西武課長。89年、渋谷店ロフト館 企画商品担当課長。90年、池袋ロフト館 企画商品担当課長。95年、梅田ロフト 次長。97年、池袋ロフト 次長。98年、大宮ロフト 次長。99年、池袋ロフト 館長。2000年、渋谷ロフト 館長を経て05年より(株)ロフト 商品部 部長。07年9月より、西日本第2営業部 部長、天神ロフト 館長(兼務・現任)。

審査委員

●委員長

森田昌嗣 氏

九州大学大学院芸術工学研究院 教授
デザインディレクター

●委員

池田美奈子 氏

九州大学大学院芸術工学研究院 准教授

大齒滋喜 氏

福岡県産業デザイン協議会企画専門委員長
昭和鉄工 株式会社 専務取締役

かねこしんぞう 氏

グラフィックデザイナー
株式会社インデックス 代表取締役

楠林 拓 氏

近畿大学産業理工学部
建築・デザイン学科 准教授

中村治二 氏

プロダクトデザイナー
松下電器産業(株)パナソニックデザイン社 参事

平田敬一郎 氏

福岡県工業技術センター 機械電子研究所 所長

松岡恭子 氏

建築家
株式会社スピングラス・アーキテツツ 代表取締役
東京電機大学 未来科学部 准教授

●ゲスト審査委員

近藤康夫 氏

デザイナー
九州大学大学院芸術工学研究院 教授

左合ひとみ 氏

グラフィックデザイナー
株式会社左合ひとみデザイン室 代表取締役

橋本茂宏 氏

株式会社ロフト 執行役員 西日本第2営業部 部長
兼 天神ロフト 館長

受賞企業一覧

●大賞/地域産品部門

小倉織 編織 SHIMA-SHIMA
企業:
有限会社 小倉クリエーション 代表取締役 渡部英子
〒803-0814 福岡県北九州市小倉北区大手町3-1-107
電話 093-561-0700 ファックス 093-561-9119
E-mail: kwm@shima-shima.jp
URL: http://www.shima-shima.jp
デザイン:
遊生染織工房 築城則子
〒805-0037 福岡県北九州市八幡東区猪倉5-8

●優秀賞 地域文化賞/家具・インテリア部門

IGUSA Fabric Board シリーズ『クリエイト・アラベスク・クール』
企業:
株式会社 添島敷商店 代表取締役社長 佐々木徹
〒831-0014 福岡県大川市中木室23-1
電話 0944-88-1141 ファックス 0944-88-1503
E-mail: info@soejima.com
URL: http://www.soejima.com

●優秀賞 マテリアル賞/日用品部門

Sea Soap
企業:
茜屋 代表 大山真理子
〒820-0608 福岡県嘉穂郡桂川町豆田112-4
電話 0948-20-9010 ファックス 0948-20-9020
E-mail: akaneya@e-mentai.com
URL: http://www.e-mentai.com
デザイン:
城戸デザイン 伊東正代
〒810-0033 福岡県福岡市中央区小笹1丁目22-6-402

●優秀賞 テクノロジー賞/家具・インテリア部門

企業:
パナルスピーカ百音・MONE5061
株式会社アモネット 代表取締役 有田真一郎
〒811-1314 福岡県福岡市南区の場2-25-5
電話 092-915-1550 ファックス 092-915-1560
E-mail: t.henmi@amonet.co.jp
URL: http://www.amonet.co.jp

●優秀賞 環境・福祉賞/家具・インテリア部門

エコデプロジェクト
企業:
株式会社エコデプロジェクト 代表取締役 松本豊
〒833-0016 福岡県筑後市
電話 0942-48-3767 ファックス 0942-52-9535
E-mail: info@eco-de-project.com
URL: http://www.eco-de-project.com
デザイン:
松本意匠 代表 松本豊
〒833-0016 福岡県筑後市常用819-7

●優秀賞 インターフェイス賞/地域産品部門

八起
企業:
株式会社ルネサンス・プロジェクト
代表取締役 中村 鉄哉
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-12-1日之出福岡ビル8F
電話 092-736-5111 ファックス 092-736-5110
E-mail: ozawa@r-pro2006.co.jp
URL: http://www.renaissance-project.jp
デザイン:
株式会社 電通九州
ソリューション本部 アートディレクター 伊藤敬生
〒810-8675 福岡県福岡市中央区赤坂1-16-10

●ゲスト審査委員賞 近藤康夫賞・奨励賞/

医療・福祉・環境・教育部門
音声付触知案内サイン
企業:
株式会社 ジーエータップ 代表取締役社長 定村俊満
〒812-0024 福岡県福岡市博多区綱場町2-2福岡第一ビル1F
電話 092-291-8801 ファックス 092-291-8805
E-mail: info@ga-tap.co.jp
URL: http://www.ga-tap.co.jp

●ゲスト審査委員賞 左合ひとみ賞・奨励賞/日用品部門

「焼栗羊羹」手作りキット
企業:
鶴商店 代表 鶴義治
〒830-0061 福岡県久留米市津福今町205-8
電話 0942-37-6120 ファックス 0942-32-8527
E-mail: info@tezukuri-sky.com
URL: http://tezukuri-sky.com
デザイン:
株式会社インデックス 代表取締役 かねこしんぞう
〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴3-1-30
祐徳ビル2号館3F

●ロフト賞・奨励賞/日用品部門

マイ箸入れ
企業:
結乃竹 代表 辻良子
〒838-1311 福岡県朝倉市多々連138-2
電話 0946-52-3252 ファックス 0946-52-0588
E-mail: info@yuinotake.com
URL: http://www.yuinotake.com

●県内デザイナー×県外企業部門賞/特別部門

パッソ
企業:
レグナテック株式会社
〒840-2106 佐賀県佐賀市諸富町山嶺266-1
代表取締役社長 樺島雄大
電話 0952-47-6111 ファックス 0952-47-6113

E-mail: info@legnatec.co.jp
URL: http://www.legnatec.co.jp
デザイン:
松本意匠 代表 松本豊
〒833-0016 福岡県筑後市常用819-7

●奨励賞/日用品部門

コットン メメ ガーゼ製品「花染めシリーズ」寝具他
企業:
coton dé mémé コットン メメ 代表 宮崎順子
〒819-0013 福岡県福岡市西区愛宕浜4-6-13
電話 092-891-4567 ファックス 092-891-4567
E-mail: info@coton-de-meme.com
URL: http://www.coton-de-meme.com

●奨励賞/日用品部門

布編みぞうり及び布編みスリッパ
企業:
布編み館 奥村律子
〒810-0055 福岡県福岡市中央区黒門3-14
電話 092-761-7892 ファックス 092-761-7892
E-mail okumura12@mail.bbexcite.jp

●奨励賞/日用品部門

WITH GARDEN
株式会社 東和コーポレーション
代表取締役社長 松信和隆
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町227
電話 0942-32-8357 ファックス 0942-38-3527
E-mail: tsuru@towaco.co.jp
URL: http://www.towaco.co.jp

●奨励賞/日用品部門

大吟醸酒粕焼酎「ふくよか」
企業:
福岡県酒造協同組合 理事長 高木泰三郎
〒812-0054 福岡県福岡市東区馬出1-24-36
電話 092-651-4591 ファックス 092-633-6722
E-mail: fukusake@d3.dion.ne.jp
URL: http://fukuoka-sake.org

●奨励賞/日用品部門

◎のせつけんと専用ホルダー
企業:
まるは油脂化学株式会社 代表取締役 林真一
〒830-0002 福岡県久留米市高野2-8-53
電話 0942-32-9529 ファックス 0942-39-4146
E-mail: hayashi-s@nanairo.co.jp
URL: http://www.nanairo.co.jp
デザイン:
独立行政法人国立高等専門学校機構
久留米工業高等専門学校 教授 藤田雅俊

〒830-8555 福岡県久留米市小森野1-1-1
株式会社 利助オフィス 代表取締役 前田美保恵
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2-14-2福岡証券ビル8F
日本ポーンチャイナ株式会社 代表取締役 原口資将
〒849-4107 佐賀県西有田町舞原乙2330
株式会社 久留米リサーチ・パーク
代表取締役社長 永測俊毅
〒839-0864 福岡県久留米市百年公園1-1

●奨励賞/日用品部門

「からくり織り」もめんマフラー、ストール、テーブルセンター等
企業:
合資会社 ロォーリング 代表社員 實藤俊彦
〒830-1203 福岡県三井郡大刀洗町大字三川1550-3
電話 0942-77-3297 ファックス 0942-77-3187
E-mail: karakuri@kasuri.jp
URL: http://kasuri.jp
デザイン:
独立行政法人国立高等専門学校機構
久留米工業高等専門学校 教授 藤田雅俊
〒830-8555 福岡県久留米市小森野1-1-1

●奨励賞/家具・インテリア部門

オール耐震家具
企業:
ウエストルーム有限公司 代表取締役 西空久一
〒815-0073 福岡県福岡市南区大池1-23-15
電話 092-541-5335 ファックス 092-541-5335
デザイン:
有限会社小島製作所 代表取締役社長 小島定次
〒815-0082 福岡県福岡市南区大楠2-3-22

●奨励賞/家具・インテリア部門

ドア
企業:
株式会社 オークマ 代表取締役社長 大隈晴明
〒838-1305 福岡県朝倉市菱野1548
電話 0946-52-2800 ファックス 0946-52-2804
E-mail: j-hamada@o-kuma.co.jp
URL: http://www.o-kuma.co.jp
デザイン:
福岡県工業技術センター インテリア研究所
所長 松山拓郎
〒831-0031 福岡県大川市上巻405-3

●奨励賞/家具・インテリア部門

HAKATA JAPAN タテ型ブラインド
企業:
株式会社鶴海織物工場 代表取締役 鶴海茂
〒813-0041 福岡県福岡市東区水谷3-12-10
電話 092-681-1368 ファックス 092-661-1238
E-mail: oshiumi@hakatajapan.jp
URL: http://www.hakatajapan.jp

デザイン:

CRITIBA 代表 坂下和良
〒810-0026 福岡県福岡市中央区古小島町81-3-102

●奨励賞/家具・インテリア部門

筑後もめん広巾のバーティション(2種) 90cm、120cm
企業:
有限会社坂田織物 代表取締役社長 坂田徹裕
〒834-0105福岡県広川町長延602
電話 0943-32-1402 ファックス 0943-32-4900
E-mail: kasuriya@axel.ocn.ne.jp
URL: http://www.sakataorimono.com
デザイン:
九州大学 大学院 芸術工学研究院 教授 森田昌嗣
〒815-8540 福岡県福岡市南区塩原4-9-1
岡山県立大学 デザイン学部 造形デザイン学科
准教授 難波久美子
〒719-1197 岡山県総社市窪木111

●奨励賞/家具・インテリア部門

金属王プロジェクト
企業:
株式会社 三松 代表取締役 安岡貞勝
〒818-0013 福岡県筑紫野市岡田3-10-9
電話 092-926-4711 ファックス 092-926-2048
E-mail: tetsuro_tanabe@sanmatsu.com
URL: http://www.sanmatsu.com
デザイン:
デザイン特区 代表 かねこしんぞう
〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴3-1-30
祐徳ビル2号館3F

●奨励賞/家具・インテリア部門

しくみツール
企業:
有限会社しくみデザイン
代表取締役 中村和幸
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前4-8-15
博多鳳城ビル401
電話 092-474-0153 ファックス 092-474-0153
E-mail: retsuhisa@shikumi.co.jp
URL: http://www.shikumi.co.jp

●奨励賞/家具・インテリア部門

min
企業:
株式会社 中村木工所
代表取締役社長 中村正洋
〒839-1333 福岡県うきは市吉井町富永1688
電話 0943-75-2135 ファックス 0943-75-4491
E-mail: nakamura@mokkou@globalbed.jp
URL: http://www.globalbed.jp
●奨励賞/家具・インテリア部門

BELLO (ベロ)

企業:
株式会社 丸庄
〒831-0016 福岡県大川市大字酒見543
代表取締役 酒見俊郎
電話 0944-86-3651 ファックス 0944-86-3826
E-mail: k-marusho@k-marusho.jp
URL: http://www.k-marusho.jp
デザイン:
森宣雄デザインルーム 代表 森 宣雄
〒839-0811 福岡県久留米市山川神代1-4-18

●奨励賞/産業・商業機器部門

昭和業務用エコキュート
企業:
昭和鉄工株式会社 代表取締役社長 山本駿一
〒812-8587 福岡県福岡市東区箱崎3-1-35
電話 092-933-6253 ファックス 092-933-6257
E-mail: moriguti@showa.co.jp
URL: http://www.showa.co.jp

●奨励賞/産業・商業機器部門

コインバーキング機器「スカイナー」
企業:
株式会社 伸栄金属製作所 代表取締役 眞信篤
〒811-2303 福岡県糟屋郡粕屋町酒殿303-3
電話 092-939-1183 ファックス 092-939-2492
E-mail: n-nuki@sinei-k.co.jp
URL: http://www.sinei-k.co.jp

●奨励賞/産業・商業機器部門

章刈機まざお CMX222
企業:
株式会社 筑水キャニコム
代表取締役社長 包行均
〒839-1396 福岡県うきは市吉井町福益90-1
電話 0943-75-2195 ファックス 0943-75-4396
E-mail: info@canycom.co.jp
URL: http://www.canycom.co.jp

●奨励賞/地域産品部門

木のおもちゃシリーズ
企業:
隈本木工所 代表 隈本知伸
〒834-0006 福岡県八女市吉田1507-3
電話 0943-22-2955 ファックス 0943-22-3713
E-mail: info@yamegoma.jp
URL: http://www.yamegoma.jp
デザイン:
福岡県工業技術センター インテリア研究所
所長 松山拓郎
〒831-0031 福岡県大川市上巻405-3
●奨励賞/地域産品部門

博多織草木染献上ストール及び服

企業:
西村織物株式会社 紫野工房 西村照子
〒818-0061 福岡県筑紫野市紫7-3-5
電話 092-922-7038 ファックス 092-925-2925
E-mail: teruko@oriya-nishimura.co.jp
URL: http://www.oriya-nishimura.co.jp

●奨励賞/医療・福祉・環境・教育部門

キミがつくる! はこシリーズ
企業:
株式会社 イーケイジャパン 代表取締役 井口秀実
〒818-0105 福岡県太宰府市都府楼南2-19-30
電話 092-923-8233 ファックス 092-923-8237
E-mail: moriyama@elekit.co.jp
URL: http://www.elekit.co.jp

●奨励賞/医療・福祉・環境・教育部門

自転車の注意喚起イメージハンブV
企業:
有限会社 完装 代表取締役 深見和己
〒812-0895 福岡県福岡市博多区下1-11-27
電話 092-431-0529 ファックス 092-431-0529
URL: http://www.sunclear.com

●奨励賞/医療・福祉・環境・教育部門

防災用 小型軽量エコ土のうEC-1
企業:
高木建設建材株式会社 代表取締役 高木幸一郎
〒839-0821 福岡県久留米市太郎原町1539
電話 0942-43-3344 ファックス 0942-43-2255
E-mail: tkk-2000@beach.ocn.ne.jp
URL: http://www.jisyubo.co.jp
デザイン:
Ms Design Office 代表者 竹田史朗
〒814-0004 福岡県福岡市早良区曙1-6-16

●奨励賞/医療・福祉・環境・教育部門

難聴防止型イヤホンマイク「インコア」
企業:
ナップエンタープライズ株式会社 代表取締役 瀬戸信次
〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津1-10-7
電話 092-622-5551 ファックス 092-622-5559
E-mail: infor@nap-e.co.jp
URL: http://www.nap-e.co.jp
デザイン:
株式会社 アイム 代表取締役 宮本一伸
〒813-0016 福岡県福岡市東区香椎浜4-1-8-208

総 評

第9回福岡産業デザイン賞は、例年並みの100件(79社)の応募がありました。デザインを活用した商品開発の促進を目的とした本表彰制度に、過去の応募や受賞実績を踏まえた企業からの優れた商品等の応募とともに、これまでよりも多くのはじめての企業からも質の高い応募がありました。

「商品の市場性」「地域産業への影響力」「デザインの獨創性・新規性・先導性」を選定基準に、公開審査では、商品等の使用区分による日用品、家具・インテリア、産業・商業向け商品、地域産品、医療・福祉・教育向け商品の5部門別に書類および実物、概要パネルなどによって審査を行いました。選定も昨年同様に、審査区分に関係なく上位の中から奨励賞、下記の6テーマに対応した優秀賞、そして大賞を選ぶ方法を採用しました。今回の表彰には、2名のゲスト審査員賞と新たに今秋オープンした天神ロフト店の協力による特別賞のロフト賞が加わりました。昨年の審査員8名を継続し、ゲスト審査員に左合ひとみ氏、近藤康夫氏、天神ロフト店の橋本茂宏氏を含めた11名で審査を行いました。また、今年度も県内デザイナーと県外企業との協働による特別部門賞が設けられ、2件の応募に対し来場者の投票により件の受賞が決まりました。

1次審査は、各応募内容の確認と書類審査、そして2次の公開審査用の5区分の部門分けを行いました。2次審査は、1次審査での事前資料を基に各審査員が実物やパネル等を照査して入賞候補案を仮選定した後、審査委員が公開審査部門別に分かれて、応募商品説明を受けながら審査委員からのコメントを含めた質疑応答による詳細な公開審査を行いました。その後、公開審査結果を踏まえての審査員による協議を経て、評価が高かった32件の入賞候補案を選定しました。

まず大賞及び優秀賞候補6件を選び、その中から最優秀である大賞1件を選定しました。今回は、新しいライフスタイルを提案する優秀賞・ライフスタイル賞には、残念ながら該当商品はありませんでした。奨励賞候補が例年より多い26件選定され、その内の3件がゲスト審査員賞とロフト賞のダブル選定となりました。

大賞は、江戸時代初期からの北九州市小倉の伝統工芸品を現代によみがえらせた「小倉織 縞縞 SHIMA-SHIMA」が選ばれました。江戸時代より昭和初期まで全国で珍重された綿織物の小倉織の伝統的な技を機械織りに置き換え、縞柄に現代的デザイン性を取り入れた高度

なクオリティ商品に結実させたことが、審査員一致の高い評価を得ました。特に、「福岡オリジナル」として全国展開、さらには国際的展開への可能性が期待できることが大賞にふさわしいと評価されました。

工芸的価値があり、地域に貢献している優秀賞・地域文化賞には、「イグサ ファブリックボードシリーズ」が選ばれました。過去にも受賞歴のある企業からの応募商品であり、約400年間、福岡産品として数物を中心に展開していたイ草を、立体的な空間へ挑戦した意欲作であることが高く評価されました。ビジネスの可能性を広げ、その波及効果が大きいと評価される優秀賞・マテリアル賞には、明太子の出汁に使われるコンブを石けんに再利用した「Sea Soap」が選ばれました。自然素材だけで製造されたエコ商品としての商品価値と、その考え方を生成色の地に淡緑色の文字を配したパッケージに結びつけたデザインの完成度の高さから選定されました。これまでのスピーカーの常識を覆す高音質パネルスピーカー「百音・MONE5061」が、技術面や性能面で優れている優秀賞・テクノロジー賞を射止めました。薄さ33mmの一枚の振動板で高音から低音まで全音域を効果的に放射するパネルスピーカーの開発に、産学連携の共同研究により実現化した先進のテクノロジーが高く評価され、今後のデザイン展開の可能性も含んだ選定となりました。優秀賞・環境・福祉賞には、インテリア産地大川地区の木材、ガラス、金属などを扱う企業数社とデザイン事務所のコラボレーションにより、異素材の端材をインテリアアイテム商品に再生させた「エコデ・プロジェクト」が、地球環境に優しい、生活福祉の向上につながるデザインとして評価されました。5つ目の優秀賞・インターフェイス賞には、芋にこだわった究極の芋焼酎「八起」が選ばれました。のどごしが良く、力強い香りややわらかな味を、本物志向にこだわるユーザーに向け、有田焼によるシャープながらやわらかさを表現したゆれるボトルとタイポグラフィの完成度の高いデザインに結実したことが評価されました。

審査部門別では、昨年やや低迷だった家具・インテリア部門は、28件の応募で優秀賞3件(地域文化賞、テクノロジー賞、環境・福祉賞)そして8件の奨励賞と躍進し、昨年同様に最も応募件数(35件)が多かった日用品部門は、優秀賞1件(マテリアル賞)、8件の奨励賞を受賞しました。今年度応募が少なかった産業・商業向け商品部門は、応募件数10件に対して3件の奨励賞でしたが、同じく応募が減った地域産品部門は、9件の

応募に対して大賞と優秀賞(インターフェイス賞)に加え2件の奨励賞を受賞し、昨年よりも応募が増えた(16件)医療・福祉・教育向け商品部門では、奨励賞5件の受賞となりました。大賞、優秀賞、奨励賞の受賞率は、全体で32%(受賞32件/応募100件)と前年(25%)を超え、部門別では、地域産品(約44%)、家具・インテリア(約39%)、医療・福祉・教育(約31%)、産業・商業向け(30%)、日用品(約26%)の順で、全体に受賞率が上がりました。特に、家具・インテリア部門(昨年比+25ポイント)が大幅に躍進し、地域産品(昨年比+17ポイント)と医療・福祉・教育(昨年比+14ポイント)の受賞率が上がりました。

今年度は、例年以上に応募商品等のクオリティが向上し、福岡ならではの商品等が多数受賞したことが特筆されます。特に、地域産品部門は応募点数が少なくしながら大賞と優秀賞を含む受賞率が高く、「福岡らしさ」をクオリティに結びつけるデザイン活用が進展しているといえます。また昨年、応募点数も受賞率も低かった家具・インテリア部門が、今回は双方ともに増加し、優秀賞を3部門獲得したことも、「福岡らしさ」に立脚したデザイン活用による着実な質的牽引役を担える企業が増えてきたことがうかがえます。デザイン活用とは、ユーザーの観点からのものづくりであり、生活イメージを機能と感性の融合によって商品などに具現化し、事業に結びつけることです。今年度は、まさに、デザイン活用による商品開発への積極的な取り組みが、福岡から日本、そして世界へ発信できる地域ブランド創成に結びつきはじめたことを予感させます。来年度10周年を迎える本事業は、継続の成果を活かし「福岡らしさ」のものづくりを発信する初年度に位置づけたいと考えております。来年度も、これまで以上に多数の応募を期待しております。

審査委員長 森田昌嗣

九州大学大学院芸術工学研究院 教授

大賞

福岡産業デザイン賞 大賞 小倉織 縞縞 SHIMA-SHIMA

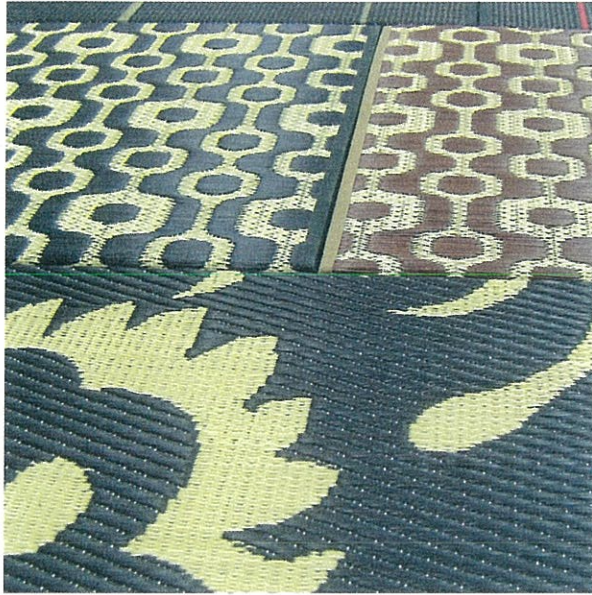
企業 : 有限会社 小倉クリエーション 代表取締役 渡部英子
デザイン : 遊生染織工房 築城則子

●審査講評 森田昌嗣

小倉織は、北九州市小倉の伝統工芸品で、江戸時代初期より袴や帯に織られ、徳川家康の遺品に残されているなど全国で珍重された綿織物であったが、昭和初期に途絶えてしまった。縦糸が非常に多く丈夫でしなやかな質感と縞柄が特徴の小倉織の伝統的技を、機械織りにより広幅化にも成功させ「小倉織 縞縞 SHIMA-SHIMA」のシリーズ商品に再生させた。伝統的な地域産品の特質に、現代的な縞柄のデザインを取り入れ、クオリティの高いアパレルからインテリアファブリックや小物などのさまざまな生活用品に商品展開したこと、そして、日本人の知恵の一つである「包み」を再認識させる多彩な縞柄の風呂敷を、優れたデザインに結実させ商品化したことが高く評価された。この商品群は、「小倉(福岡)オリジナル」を創成しているだけでなく、わが国が誇る歴史的資質を、全国に、そして世界に発信しうる可能性を秘めた優れたデザインであることから、大賞に選出された。



優秀賞



優秀賞 地域文化賞

IGUSA Fabric Board シリーズ『クリエイティブ・アラベスク・クール』

企業 : 株式会社添島敷商店 代表取締役社長 佐々木 徹

●審査講評 松岡恭子

いぐさをファブリックのように扱い、壁掛けのオブジェとして製品化されたもの。大胆でかつ細かな絵柄が大変現代的で個性的な雰囲気をつくりだし、いぐさの新しい可能性を切り開いていて新鮮である。サイズは住宅で扱いやすい絵画くらいとなっているが、住宅を対象とするよりも飲食店など商業空間の方が、個性が生きてくるのではないだろうか。例えば飲食店の個室の壁などに、もっと大きなサイズで設置すると、インテリア空間も印象的になるとともに、いぐさとの距離感が短く、素材も楽しめると思う。商品名も一考を。



優秀賞 マテリアル賞

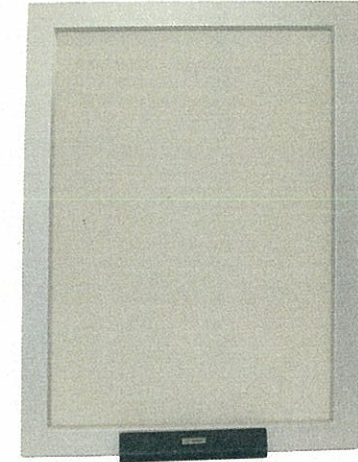
Sea Soap

企業 : 茜屋 代表 大山真理子

デザイン : 城戸デザイン 伊東正代

●審査講評 かねこしんぞう

本来、「喜なりめんたいこ」という明太子をはじめとする食品加工企業であるが、明太子の仕込みに使用する「昆布」を再利用して商品開発された石けんである。だしをとった後もアルギン酸やフコイダンなどの有効成分が含まれている昆布の微粉末や天然塩などが石けんに練り込んである。その自然派石けんの特性を活かした新しい発想で、女性層をターゲットに絞って、その商品フレーズは「塩ですっきり、昆布でしっとり」。パッケージデザインにおいても、企業の姿勢を充分組み入れた配慮がなされていて、ナチュラルな商品の市場価値を高めている。



優秀賞 テクノロジー賞

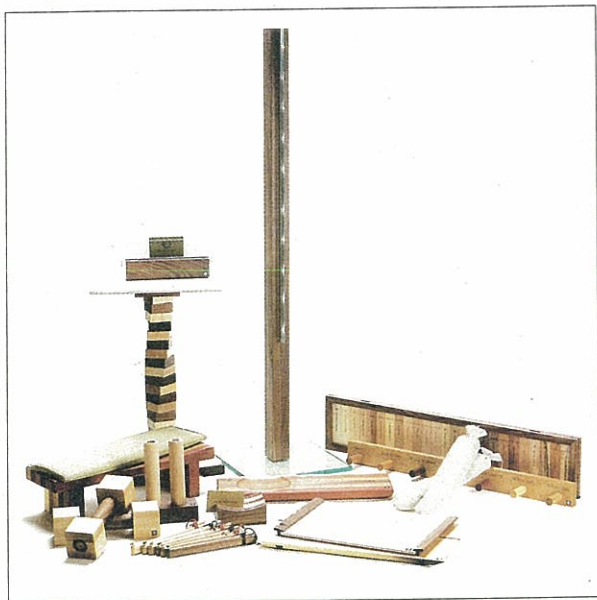
パネルスピーカ百音・MONE506I

企業 : 株式会社アモネット 代表取締役 有田真一郎

●審査講評 平田敬一郎

今までのコーン型スピーカは位相特性の乱れを引き起こす分割振動を嫌いピストンモーション領域で使用することが理想とされていました。パネルスピーカ百音は、振動板ができるだけランダムに近い振動をするよう、エキサイタの最適な配置が決められ分割振動を積極的に利用したものであり、逆転の発想によりできあがったスピーカである。心配された高音域のアバレもないため刺激的な響きを聞かせることもなく低域から高域までのびやかに再生しておりオーディオユースにも十分に使用できる性能となっている。パネルスピーカの特徴として設置スペースの小さいこと、指向特性が広くリスニングポジションを選ばないこと、パネル面に意匠性を持たせることによりインテリアとしても楽しみ、パネルスピーカ百音は新しいリスニングスタイルを提案している。

優秀賞

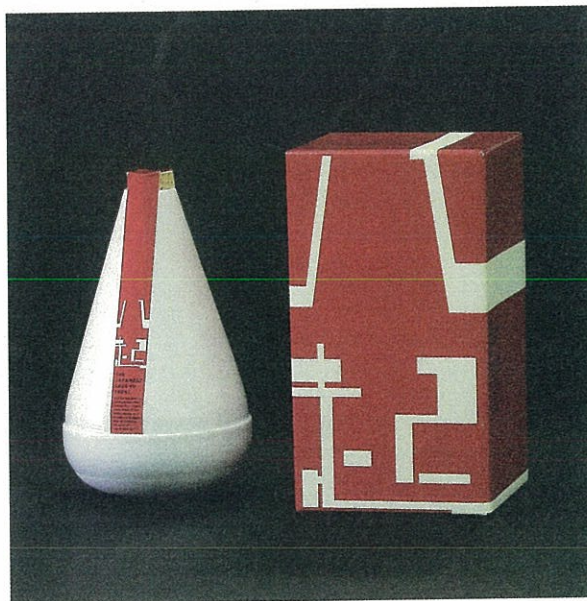


優秀賞 環境・福祉賞 エコデ・プロジェクト

企業 : 株式会社エコデ・プロジェクト 代表取締役 松本豊
デザイン : 松本意匠 代表 松本豊

●審査講評 松岡恭子

大川で家具をつくる過程で生まれる木片やガラス、人口大理石などの端材を、連携して再利用し、新しい製品をつくりだすプロジェクト。様々な種類の木片は色も異なるが、それを組み合わせることの面白さが上手く表現されている。再利用する際の細かな細工も、大川の技術的基盤が可能にしている。端材利用であるため部材のサイズが小さく、それを組み合わせた製品の大きさも現在のところは小ぶりなもので、また木片の名前を刻むなど、表現も「再利用」というアピールが出てしまいがちに見える。接着剤などを工夫し、端材の再利用とは思えないほどのサイズや、大川の新しい家具デザインを切り開いていくことを期待する。



優秀賞 インターフェイス賞 八起

企業 : 株式会社ルネサンス・プロジェクト 代表取締役 中村鉄哉
デザイン : 株式会社電通九州 ソリューション本部 アートディレクター 伊藤敬生

●審査講評 楠林拓

ボトル、パッケージ、ポスターとも、見る者の意表をつく強烈なグラフィックデザインが注目を浴びた。しかし一見奇抜に見える色彩と形態は、周到に計算されたリズム感を持って、商品としての世界観を作り上げ、見る者にそれを伝達することに成功している。パッケージデザインにも工夫がみられ、転がるような有田製のボトル形状は、一輪挿しなどへのリユースを考慮している。グラフィック・パッケージデザインがその伝達力をあますところなく発揮している点が高く評価された。

ゲスト審査員賞



ゲスト審査員賞 近藤康夫賞/ 奨励賞(医療・福祉・環境・教育部門) 音声付触知案内サイン

企業 : 株式会社 ジーエータップ 代表取締役社長 定村俊満

●審査講評 近藤康夫

21世紀になって、デザインの取り組みや考え方はますます多様になってきている。つまり、物に形を与える時代からデザインの価値そのものが問われる時代になっている。(株)ジーエータップの『音声付触知案内サイン』は、視覚、聴覚、触覚という3つの感覚を一つにまとめて提案されている。ユニバーサルデザインとは、身障者だけでなくすべての人に対するデザインである。この点からも受賞作は、3つの『感覚』を着眼点としてとらえ、うまくデザインを成立させている。今後、3つのソフトの部分を充実させれば、更によりデザインになるだろう。



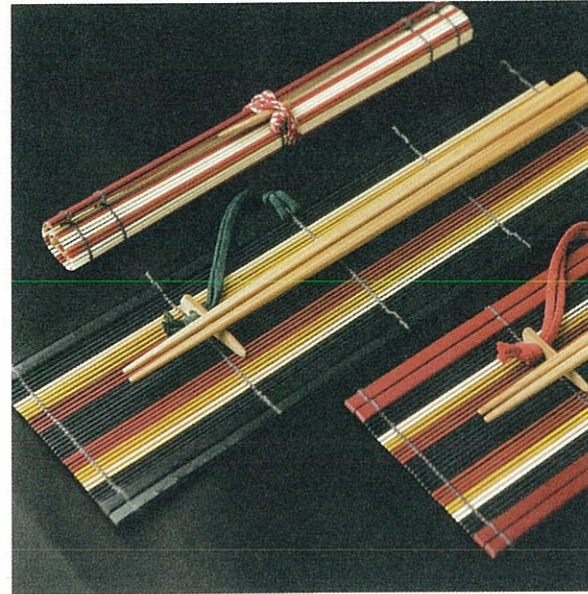
ゲスト審査委員賞 左合ひとみ賞／奨励賞(日用品部門)
「焼栗羊羹」手作りキット

企業：鶴商店 代表 鶴義治
デザイン：株式会社 インデックス 代表取締役 かねこしんぞう

●審査講評 左合ひとみ

栗羊羹が簡単に手作りできるキットである。ギフトとして人に贈れば、「モノ」だけでなく「コト」も贈ることができる。完成品にはない作る楽しみがあり、まずそこに惹かれた。しかも、作り方が簡単という点も大きなポイントだ。確認のため、審査の後に送っていただいたキットで実際に試してみたところ、実に簡単。優しい味で、とても美味しかった。メーカー発想の商品には、マーケットの視点のない一方的なものもしばしば存在するが、この商品からは手作りすることの良さが素直に伝わってくる。人と人とのコミュニケーションをデザインし、身近なところから新しい食文化をもデザインする可能性を持つものとして、今後の展開に期待したい。

ロフト賞



ロフト賞／奨励賞(日用品部門)
マイ箸入れ

企業：結乃竹 代表 辻良子

●審査講評 橋本茂宏

日本の伝統的素材のひとつである竹を～しかも地場の物～ベースに現代感覚でおしゃれな日常使いの箸入れに加工してあり、配色や留め具などの細部にも大和の回らしい作り手のやさしい心配りが感じられた。加えて、近年の環境保護視点からも、マイ箸入れの使用を促進することで、エコマインドの醸成にもつながると思われた点を評価させていただいた。

県内デザイナー×県外企業部門賞



特別部門・県内デザイナー×県外企業部門賞
パッシ

企業：レグナテック株式会社 代表取締役社長 樺島雄大
デザイン：松本意匠 代表 松本豊

※特別部門賞は福岡産業デザイン賞応募企業の投票により決定しました。

奨励賞



○日用品部門
 コトンドメメ ガーゼ製品「花染めシリーズ」寝具他
 企業 : coron de mémé コトンドメメ 代表 宮崎順子

●審査講評 池田美奈子

優しさにあふれたデザインである。昨年に続いての受賞だが、今年は昨年のベビー用品のラインナップから、寝具やスポーツタオルなど、より広範なユーザーを対象とした製品へと展開している。カラーも従来のピンクとブルーに、聖書に「知恵の木」と記されたオレンジ由来のオレンジ色、薬効植物として有名なアロエを用いたグリーンが加わり、豊かな物語性と機能性を備えた、人々の心と体の両面に快を与える魅力的なシリーズに成長した。



○日用品部門
 布編みぞうり及び布編みスリッパ
 企業 : 布編み館 奥村律子

●審査講評 かねこしんぞう

色彩豊かな裂き布を使って編まれたいろいろな表情をもつぞうりやスリッパ。一目見て「かわいい!」っていう感覚の手づくりを前面に打ち出した商品。手編みで編んであるので質感が微妙にやさしい。本来ならばある程度の量産の計画性がある商品が当デザイン賞の必要条件でもあるわけですが、このミシンや針の縫い合わせを一切しない、手編みでしかない手触り感や色のバランスがそれを補って余りある商品となっている。



○日用品部門
 WITH GARDEN
 企業 : 株式会社 東和コーポレーション
 代表取締役社長 松信和隆

●審査講評 池田美奈子

作業用手袋に豊かなカラーバリエーションを取り入れたところに新規性がある。同社は昨年、作業用手袋「メジャーローブフィット」で、製品の持つ機能性をストレートに表現したデザインが評価されてマテリアル賞を受賞した。今回の「WITH GARDEN」では、慎重な色の選択により、従来の高い機能性に加え、農作業やガーデニングを日常の楽しみとして日常生活に取り入れるライフスタイルを提案するデザインに展開している。色という要素を効果的に用いることで、単なる作業用手袋にとどまらない新たな生活の価値を創出した点を評価した。



○日用品部門
 大吟醸酒粕焼酎「ふくよか」
 企業 : 福岡県酒造協同組合 理事長 高木泰三郎

●審査講評 池田美奈子

大吟醸酒の酒粕を原料にした焼酎は、清酒と焼酎の両方を生産する蔵元のみができるものづくりだ。焼酎文化圏として全国に認知されている九州にあって、清酒文化を持つ福岡の特徴を象徴する製品と言える。県を代表する産品である博多織の端切れと八女の和紙を用いたラベルデザインは、こうした福岡のアイデンティティを強く打ち出している。博多織の端切れをリサイクルすることにより、30数種類の色柄のバリエーションが生まれ、焼酎を飲んだ後はコースターとしても使用できる楽しみがある。製品とラベルのデザインコンセプトの適合性と独創性の高さを評価した。欲を言えば、グラフィックデザインにもう少し洗練がほしいところだ。

奨励賞



○日用品部門

◎のせつけんと専用ホルダー

企業 : まるは油脂化学株式会社
代表取締役 林眞一

デザイン : 独立行政法人国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校 教授 藤田雅俊 / 株式会社利助オフィス 代表取締役 前田美保恵 / 日本ボンチャイナ株式会社 代表取締役 原口資将 / 株式会社 久留米リサーチ・パーク 代表取締役社長 永洵俊毅

●審査講評 かねこしんぞう

最初の商品を見た印象は、形状にデザインがなされていて、けっこうおしゃれ感がある点で目を引いた。ちょっと珍しい円形の真ん中に穴が空いていて、それを菱形のボンチャイナのスタンドの突端に差し込んで構成されて、一体化したデザインになっている。そういう意味ではアクセサリーを含めたストーリー性がある魅力的な商品になっている。また、穴の存在が泡立ちを良くするといった実用面においても研究されている点が評価された。



○日用品部門

「からくり織り」もめんマフラー、ストール、テーブルセンター等

企業 : 合資会社 ロォーリング 代表社員 實藤俊彦
デザイン : 独立行政法人国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校 教授 藤田雅俊

●審査講評 かねこしんぞう

久留米織の織りに一工夫も二工夫も凝らした努力が、商品の表情に表れていた。詳しい製法に深くは触れませんが、特殊技法で撚った紺糸と数種の糸を織り込み、また細糸も同時に併用して保温・保水性が高く、肌触りが良い生地が開発された。その色合いは印象派のスーラの点描画のような、きめ細かい色違い模様が風情を醸し出している。この生地を使ってどのような形状に展開するののかについては多少の検討が必要であるが、この生地到達した熱意が伝わった。



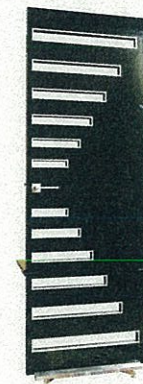
○家具・インテリア部門

オール耐震家具

企業 : ウエストルーム有限公司
代表取締役 西室久一
デザイン : 有限公司小島製作所
代表取締役社長 小島定次

●審査講評 森田昌嗣

地震時の家具の転倒は、家庭内災害の要因の一つとして対応が急がれている。5カ所の耐震装置を備えた「オール耐震家具」の内、家具の底部に簡便に取り付けるだけで、転倒を防止できる装置が特筆される。地震の震動を受け家具が前後に揺れる度に、この装置は、家具を後方の壁に傾ける支持材が少しずつ出てくる仕組みを内包し、その性能は、県の工業技術センターで検証されている。日本最大の家具産地・大川を有する福岡ならではのアイデア商品であり、まさに「縁の下の力持ち」となり、ユーザーに安心と安全を提供する家具デザインとして評価された。



○家具・インテリア部門

ドア

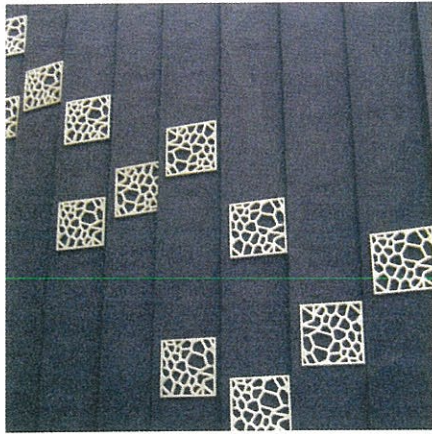
企業 : 株式会社 オークマ
代表取締役社長 大隈晴明

デザイン : 福岡県工業技術センター インテリア研究所
所長 松山拓郎

●審査講評 松岡恭子

遮音性とインテリア性を兼ね備えたドア。ガラスを取り入れたり、閉めると足元の隙間も封じられる仕組みがあったり、重たい防音ドアではない印象をつくりだしている。塗装も凝った仕上げで、高級な木製建具のたたずまいである。懲りすぎてインテリア空間でドアだけが浮いてしまう可能性もあるので、周囲と調和しやすいシンプルで飽きの来ないデザインへの磨きが次の課題であろう。

奨励賞

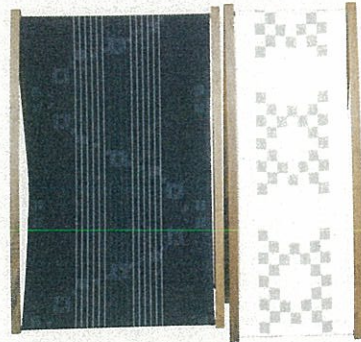


○家具・インテリア部門
HAKATA JAPAN タテ型ブラインド

企業 : 株式会社鷺海織物工場
代表取締役 鷺海茂
デザイン : CRITIBA 代表 坂下和長

●審査講評 森田昌嗣

博多・福岡を代表する伝統産業「博多織・伊達締め」の特質であるタテ糸密度とヨコ糸の打ち込み数が多い「絹素材で丈夫な織」と、「粋・繊細・上質感」のブランドイメージを、タテ型ブラインドに展開した商品。タテ糸を特徴とする博多織を、帯からインテリアに転用させた意欲的な開発姿勢が評価された。この取り組みは、博多織が織りなす新たな生活シーンを提案するものであり、今後、パターンと色彩の工夫や、さらなる異素材の組み合わせなど、多彩なインテリア商品への展開が期待される。

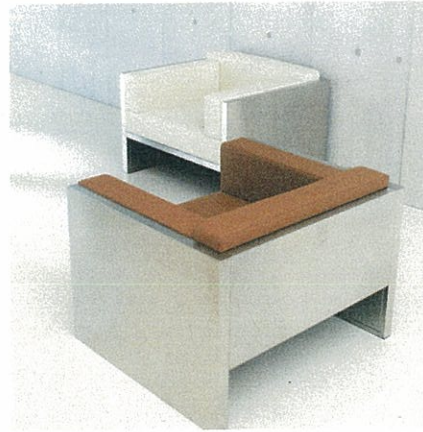


○家具・インテリア部門
筑後もめん広巾のパーテーション(2種)90cm、120cm

企業 : 有限会社坂田織物
代表取締役社長 坂田撒裕
デザイン : 九州大学大学院芸術工学研究院
教授 森田昌嗣
岡山県立大学 デザイン学部
造形デザイン学科 准教授 難波久美子

●審査講評 松岡恭子

これまでにない広巾を利用した、素朴な雰囲気のパーテーション。ナチュラルなおおらかな雰囲気が良い。紫外線を大部分カットするという素材の特性を活かし、ロールブラインドなど窓廻りの製品としても可能ではないだろうか。その際は飽きの来ない図柄と色がポイントになるだろう。

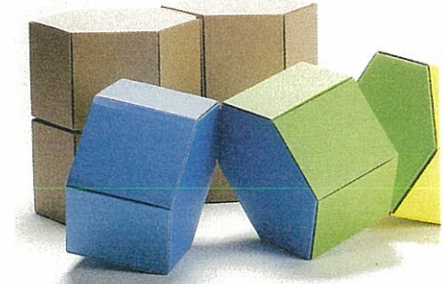


○家具・インテリア部門
金属王プロジェクト

企業 : 株式会社 三松 代表取締役 安岡貞勝
デザイン : デザイン特区 代表 かねこしんぞう

●審査講評 森田昌嗣

これまで業務用製品の一部を製造してきた金属加工専門メーカーが、「金属をもっと生活シーンへ」をテーマに、デザイン集団とのコラボレーションにより金属の魅力と可能性を生活者に提供する家具やインテリア雑貨、ステーショナリーなどの商品群の開発プロジェクトである。軽量化の技術と生活シーンをふまえたデザイン活用により、金属を使いながら圧迫感のない、金属の冷たいイメージを払拭した技術と感性が融合した福岡発のデザイン商品化が評価された。



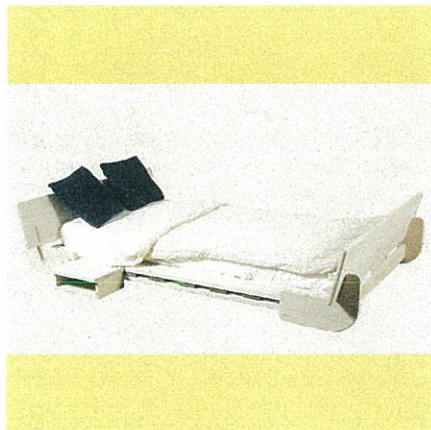
○家具・インテリア部門
しくみツール

企業 : 有限会社しくみデザイン
代表取締役 中村和幸

●審査講評 森田昌嗣

一枚のダンボール板を切り出した部品で、だれでも簡単に組み立てることのできるツール。組み立て時には、ツール同士を自由につなげることができ、組み合わせ方の工夫でさまざまな用途に使用できる。ダンボール製の座る商品は、すでに多数開発されている。しかし「しくみツール」は、組み合わせの楽しさや絵を描いて楽しむことができるなど、子どもたちの工作ワークショップなどのイベントでの活用を視野に入れ、座るためのデザインだけでなくコミュニケーションを誘発するデザインを提供していることが評価された。

奨励賞



○家具・インテリア部門
min

企業 : 株式会社 中村木工所
代表取締役社長 中村正洋

●審査講評 松岡恭子

優しい手触りの印象を与えるベッド。高さも低く抑え、布団とベッドの中間のような印象。意匠的には木板の組み合わせ方も面白く、小さなテーブルの設置やヘッドボードの角度などに、眠りの前後の時間を快適に過ごせるための気遣いが細かくなされている。ベッドの下や周辺に掃除機のヘッドが入らないなど、今後の改良も期待される。

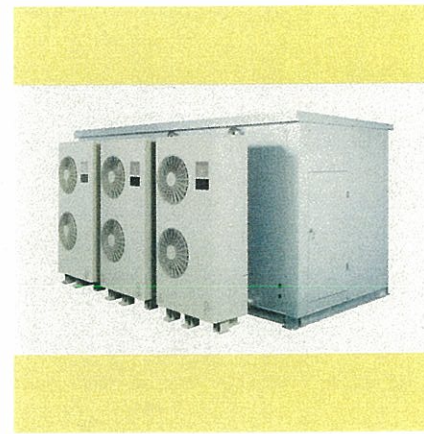


○家具・インテリア部門
BELLO(ベロ)

企業 : 株式会社 丸庄 代表取締役 酒見俊郎
デザイン : 森宣雄デザインルーム 代表 森宣雄

●審査講評 森田昌嗣

BELLOは、宮崎県産の年輪幅が広く弾力に富み、割れることが少ないとされる上質な杉材を主材に、その材質を活かした造形美の創作が評価された。BELLOとは、イタリア語で、美しい、優しいなどの意味の言葉であり、その名にふさわしいこれまでにない造形を、家具メーカーと木型メーカーとのタイアップによって実現している。木材による3次曲面の表現は難しいとされてきた。この家具の先進的提案は、木製家具のイメージを一新させるだけでなく、東アジアの台頭に課題を抱える大川家具産地の新たな切り口を予感させる。



○産業・商業機器部門
昭和業務用エコキュート

企業 : 昭和鉄工株式会社
代表取締役社長 山本駿一

●審査講評 平田敬一郎

ヒートポンプを用いた給湯器は、エネルギー効率が良いことが知られており現在普及が進んでいるが、昭和業務用エコキュートは更なる効率アップに挑戦した製品である。冷媒には温暖化係数の低い自然冷媒CO2を使用し環境性も高く高温の湯を沸かす場合にも効率低下のない冷媒を作動させている。また、給湯循環加熱用の電気ヒーターを廃止し全て夜間蓄熱を利用しランニングコストを削減させ、大型タンクに貯湯することにより放熱ロスも低減させている。最後のツメとして給湯循環の戻り湯の一部をサブタンクに貯湯し徹底したロスの排除が行われている。十分に検討された技術が投入された製品である



○産業・商業機器部門
コインパーキング機器「スカイナー」

企業 : 株式会社 伸栄金属製作所
代表取締役 貫信篤

●審査講評 中村治二

ロック機構が天空にあるコインパーキング。従来の機器は全て道路面からの制御であり、まったく新しい発想のパーキング機器である事が評価された。ロック機構が天空にあることで容易に駐車の有無が確認できることも大きなポイントである。道路面はフラットであり駐車スペースの清掃等が容易にでき、更に凸凹がない為人が通ってもつまづく心配も無く人にも優しい機器であるとも言える。特に積雪地では、ロック機構を支える柱が駐車位置の目安になり少々の雪では問題なく駐車できる点も注目される。しかしながら、街の景観を考えた時、色使い、シャフトのポリウム感などへの配慮が望まれる。

奨励賞



○産業・商業機器部門
草刈機まさお CMX222

企業：株式会社 筑水キャニコム
代表取締役社長 包行均

●審査講評 中村治二

より多くのフィールドに対応した乗用草刈機。刈高さの拡大、AWDの採用、タイヤの大径化、軽量化、前後重量配分の適正化など性能向上への対応が行き届き、更にハードな作業用機器としての操作性への配慮（ハンドルの高さ、刈り高さの調整など）も適正に行なわれており、作業性での優位性が認められる。更に機器を構成する個々のパーツの仕上げも充分考慮されている点が評価された。草刈り機の本来機能である前方より掻き込んだ草を中央部で刈り取り、後方に排出するという機能の流れを全体デザインの中で上手く形態で処理できているが、堅牢感を謳う余りハードなイメージを強調しすぎている面もあり、人が使う機器としての「優しさへの配慮」が望まれる。



○地域産品部門
木のおもちゃシリーズ

企業：隈本木工所 代表 隈本知伸
デザイン：福岡県工業技術センター インテリア研究所
所長 松山拓郎

●審査講評 楠林拓

子供のおもちゃは、少子化の中で市場規模が縮小しているにもかかわらず、消費行動の成熟から、「本物」を求める傾向が年々強くなっている。以前にも増して有益・安全・良質な玩具を求めるニーズに対応した製品が地域の伝統技術を使って生み出されることは、地域にとっての願いである。受賞商品は、八女地域の伝統に根ざしつつ、新しい遊びの形を生み出すなど意欲的な製品開発を行って、最終的に柔らかくかわいらしい造形・色彩にまとめている点が評価された。



○地域産品部門
博多織草木染献上ストール及び服

企業：西村織物株式会社
紫野工房 西村照子

●審査講評 楠林拓

近年、ほぼ毎年受賞を果たしている地域期待の商品群である。硬く、男性的なイメージの博多織を、柔らかいイメージに変え、女性のストール・服に応用することで使用シーンを拡大することに成功している。また、近年の安全・自然志向と合致した天然の草木染めを説明するしおりデザインにも一貫したメッセージを伝達する点が評価された。伝統を継続的に新しい分野に活かすつづける取組みそのものも高く評価したい。今後も博多を代表するJAPANブランドとして育てほしいと願う。



○医療・福祉・環境・教育部門
キミがつくる! はこシリーズ

企業：株式会社 イーケイジャパン
代表取締役 井口秀実

●審査講評 大歯滋喜

はこシリーズは「FMはこらじ」「はこカー」「はこびか」「はこホバー」「はこアニメ」から構成された、小学校低学年以上を対象に紙工作と電子工作をドッキング「自分でつくる」にこだわった工作キットシリーズである。パッケージの白い外箱を作品の筐体や機構の一部に利用しながら、好みの塗装やデザインをつけ加える余地を残している。電子工作部分は、ほんだ付けを必要としない、部品の差し込みを採用することで小学校低学年でも電子回路や機構を観察しながら学ぶことができる。また、組み立てに特別な工具を必要とせずに「ものづくり」を楽しく経験できる場所などが高く評価された。今後とも、「自分で組み立てる」工作キットシリーズの商品開発に期待が寄せられる。

奨励賞

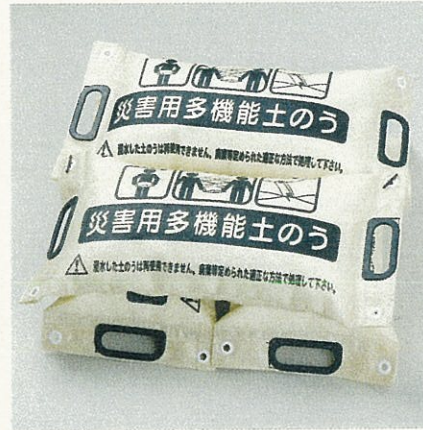


○医療・福祉・環境・教育部門
自転車の注意喚起 イメージハンブV

企業 : 有限会社 完装
デザイン : 代表取締役 深見和己

●審査講評 大歯滋喜

歩道での自転車による事故が増している。V型形状の反射シートを、歩道上に白、黄色と交互に帯状に貼り付ける。これに自転車で接近していくと、近づくにつれて、反射シートが少しずつ盛り上がったように見えてくる「目の錯覚現象」を活用し自転車に乗る人の自制心に働きかけて、スピードを緩めさせる効果が期待される。本審査会の関係者のお一人が、イメージハンブVの施工現場で実際に自転車で走行され、スピード抑制効果を実感された事例報告もあり、自転車事故が増加する時代に本商品の事故防止効果が高く評価された。また、反射シートの材質、コーナー処理にも配慮されている。



○医療・福祉・環境・教育部門
防災用 小型軽量エコ土のうEC-I

企業 : 高木建設建材株式会社
代表取締役 高木幸一郎
デザイン : Ms Design Office
代表者 竹田史朗

●審査講評 大歯滋喜

集中豪雨型の大雨水害時の自主防災を支援するための「土のう」である。急な豪雨時にも、女性でも運搬可能な軽量小型サイズに規格化された「土のう」を提供している。運搬、積み上げを容易にする取っ手、作業手順も土のうの袋に簡潔に表示されている。緊急時に、誰でも容易に迷い無く作業ができる「土のう」にまとめたデザインの力、建設廃材からリサイクルされた再生砂を土のうの充填材に使用して環境にも配慮されているところなどが、総合的に高く評価された。



○医療・福祉・環境・教育部門
難聴防止型イヤホンマイク「インコア」

企業 : ナップエンタープライズ株式会社
代表取締役 瀬戸信次
デザイン : 株式会社 アイム 代表取締役 宮本一伸

●審査講評 楠林拓

本製品は、建設現場や工場内など騒音の多い場所で騒音曝露による難聴を防止しながら目的の音だけを聞き取り、また、自身の発声音だけを伝えやすくする送受話装置である。さらに、難聴者は通常的环境でも聞き取りやすくする補聴器の役目も果たす。このように、現代人にとって広い利用シーンが期待出来る点、また海外を含む数々の特許を取得している技術の高さが評価された。しかし、難聴防止というコピーや、赤ちゃんの写真を使ったグラフィックが、製品の主眼が、予防なのか、それとも現在の人の利便性に置かれているのかを不明瞭にしている点など、コミュニケーションにおける改善を期待する。